

一般質問



女性活躍・学力向上・ 乳房補正具購入助成金



無会派 ● 藤川 みゆき 議員

女性の働く環境づくりについて

問 M字カーブ(女性の年齢階級別労働率)の現状を尋ねます。

答 改善傾向にあります。

問 働きやすい環境づくりの為にイクボス宣言の周知をもっとするべきだと思いますが見解を尋ねます。

答 今後、更に周知をしていきます。

問 子育て中の女性が働く為の「待機児童」「小一の壁」についての考えは。

答 課題の改善をしていきます。



学力向上に向けた図書館の有効活用について

問 十代の利用者数の動向を尋ねます。

答 小学校高学年から

中学生高校生は利用率が低い傾向にあります。

問 図書館の一定の方向性が決まり、今後の学力向上も視野に含めて(単独のスペース)の学習室を設けることについて提案します。

答 学習室の設置を検討します。



乳房補正具購入助成金について

問 乳がん患者の_Apiアランスケア(医学的・整容的・社会的支援を用いて外見の変化を補完し、がん患者の苦痛を軽減するケア)として乳房補正具購入補助金の導入を提案します。

答 速やかに導入します。



誰もが健康で 安心して過ごせるまちづくり



日本共産党湖南市議員団 ● 松井 けい子 議員

「健康こなん21計画」

問 喫煙、受動喫煙の今後の対策は。

答 各小中学校で喫煙防止教育を実施。企業に薬剤師会の禁煙支援出前講座の案内や禁煙啓発のパンフを配布。子どもは受動喫煙による健康被害が大きいため、平成31年度は乳幼児健診を活用し保護者に啓発を図ります。

問 喫煙者の15、20%が、慢性閉塞性肺疾患を発症。標準死亡率が、湖南市は高く、女性は県下で最下位です。禁煙・受動喫煙の危険性、禁煙外来の医療機関、肺がん患者の肺の写真を入れたポスターなどの啓発が必要では。

答 視覚に訴えるような啓発は必要であり、検討をします。

問 胃バリウム検査から胃力メラ検査への移行とピロリ菌検査の実

施について。

答 医師会、検診機関、専門医などが所属した運営委員会を設置し、ダブルチェックを担当する読影委員会を管理する機能などの条件や課題の調整を図るため、医師会や関係機関との協議、検討を進めていく必要があります。

平成30年度、市の胃癌検診で199人にピロリ菌感染の疑いで医療機関への受診勧奨をしました。

その他の質問

・国民健康保険税について

喫煙率調査結果

	第1次	第2次
20～24歳	6.80%	17.10%
25～44歳	16.10%	20.00%

男女ともに悪化

75歳以上の健康診査

	被保険者数	健診対象者	受診者数
H26年度	4,332人	1,001人	500人
H27年度	4,511人	1,022人	535人
H28年度	4,737人	1,020人	557人
H29年度	5,037人	1,893人	811人
H30年度	5,287人	2,053人	970人(2月)